

立命館 災害復興支援室 瓦版

かわらばん

【第23号】2014年5月12日発行

今年度も立命館から 様々なボランティアバスが 東北へ発進します

東北の被災した多くの地域で、土地のかさ上げや復興住宅の建設が進みはじめたニュースが聞かれるようになりました。しかしその一方で、被災した町の風景が次々と消失し、沿岸への堤防建設や、復興の進むスピードに地域格差、家ごとの格差が生まれるなどといった、難しく複雑な課題は多く残されています。また、そういった状況をメディアのみを通じて関西から知ることがは更に難しくなっています。

立命館では、これらの状況をふまえて、これまで連携してきた東北の皆さんにご協力いただきながら学生や教職員が実際に現地に赴き、復興に寄り添う活動を継続していきます。

<2014年度 主な派遣予定>

●碓氷海岸観光まつりへの学生派遣

昨年度について、岩手県大船渡市で開催される「碓氷海岸観光まつり」へ「立命館によるパフォーマンスステージ」と市民交流企画を担当する学生団体を派遣しました。

日時：5月2日夜出発-5/6関西着
派遣団体：立命館カラーガードサークルLUSTER（ラスター）16名、書道部3名 合計19名
引率職員：学生オフィスより計3名

▼お祭り当日・活動の様子



●後方支援スタッフ派遣第24便

宮城県気仙沼市で震災後のまちづくりに取り組む地元の方々と共に被災したまちに地域の方々が集う場づくりに向けたワークショップに取組みます。

日時：6/19（木）-6/24（火）
派遣先：宮城県気仙沼市 唐桑半島
募集人数：学生15名程度
引率：教職員2名を予定
参加費：交通費・宿泊費は教職員寄付「復興+R基金」で補助。食費入浴代は各自。企画概要・エントリー：5月下旬 CAMPUS WEB,災害復興支援室HPで公開

▼昨年の気仙沼での派遣の様子



●大船渡市お祭りサポートプロジェクト

2012年度から開始し実施3回目となる課外活動プログラム。岩手県大船渡市の夏祭のサポートと地域の方々と交流を通じて震災を学ぶプログラム。事前学習（5回）への参加がエントリー条件です。

派遣日程：8/2（土）-8/9（土）
募集人数：20名程度
引率：立命館大学サービスラーニングセンター 教職員が担当
参加費：交通費・宿泊費は教職員の寄付「復興+R基金」で補助。現地の食費、入浴代約10,000円程度～必要。

★エントリー受付：5/23（金）17時
企画の詳細、申込みは立命館大学サービスラーニングセンターHPで受付中。

▼活動風景。お祭りの盆踊りに参加します。



【予告】6月1日（日）

BKC20周年サクスデーにて 「ふくしまとはじめよう。」開催

立命館が昨年協定を締結した福島県の風評被害の払拭と情報発信を応援することを目的に、BKC開設20周年サクスデーの当日、福島グルメや観光物産などの魅力を発信する「ふくしまとはじめよう。」を展開します。

当日は、サクスデー開催中のにぎやかなキャンパスを舞台に、美味しい福島県の特産品の販売や試食や観光スポットの紹介の他、立命館大学をはじめ関西で福島復興支援に取り組む学生たちによる報告会も開催します。



日時：6/1（日）11：00～15：30
場所：立命館大学BKCキャンパス セントラルパーク内ステージ セントラルサーカスエリア

内容：復興応援キャラクター「キビタン」によるゆるキャラパフォーマンス
福島県オリジナル米「天のつぐ」試食
100%果汁ももジュース、B級グルメや加工食品などの物産コーナー、手作り体験コーナー、観光物産紹介コーナー等

▼BKCサクスデーの全体概要は、RS WEB特設ページで公開中です。



【2014年3月～4月】

立命館 復興支援の取り組み レポート

●●応援団吹奏楽部 大船渡市へ

立命館大学応援団吹奏楽部メンバーは、昨年の宮城県石巻市の訪問に続く東北の被災地での活動として岩手県大船渡市を訪問。市立第一中学校の吹奏楽部と交流・合同練習を行いました。学生たちは現地での交流に先立ち、陸前高田市で津波被害ガイドツアーにも参加。震災と復興の状況について学ぶ時間も設けました。

3/16（日）には大船渡市で市内の中高や市民の吹奏楽団による「さくらコンサート」にも出演し演奏を披露。コンサートの最後には出演した全吹奏楽団総勢200名による合同演奏と、復興応援ソング「花は咲く」の合唱を行い、会場全体が優しい空気に包まれました。

<参加した吹奏楽部学生のコメント>

★「関西から被災された皆さんを励ますつもりで東北に来ましたが、迎えてくださった方々から逆に沢山の元気をもらって胸が熱くなりました。皆さんへの恩返しを込めて演奏を届けたい。」（学生指揮）

★「被災地に來たことで震災の現実をなにも知らなかった事に強く気づかされました。今日から復興のため自分にもできることをじっくり考えていきたいと思っています。」（学生代表・女子）



●●ボランティアバス企画

「後方支援スタッフ派遣」第23便 陸前高田市で活動

3/12（水）-18（火）災害復興支援室が主催するボランティアバス企画「後方支援スタッフ派遣プロジェクト」の第23便に学生13名が参加。陸前高田市復興サポートステーションのコーディネートにより、沼の土砂の中からの遺留品搜索とわかめ漁の最盛期を迎えた漁港でのわかめ収穫と出荷の作業を実施しました。



<派遣に参加した学生のコメント>

★「震災からもう3年も経っていると聞いていましたが、想像以上に復興が遅いと感じました。地元の方から聞いた「命でんでんこ」という言葉、自分の命をまず守る、自分が助かって初めて人を助けられるという意味を聞き、大変な状況を生き残った方の言葉として心に残っています。」（産社3年生）

★「大学生に来てもらえるとうれしい。子どもたちのお兄ちゃん的な存在でお年寄りからは孫のような存在。体力もある大学生は本当に頼りになるんだよ。」と言っていただき、大学生として行って良かったと感じ、使命感を持って活動することができました。（経営2年生）

●●「防災寺子屋まもっぺ」を開催



3/23（日）24（月）立命館の大阪梅田キャンパスがある富国生命ビルの4階で、本学の校友で現在は福島県からの

県外避難者のネットワークづくり等に取り組む『東日本大震災復興サポート協会』の遠藤雅彦さんを講師に迎え「ぼうさい寺子屋まもっぺ」を開催。

近隣の自治会の方や梅田のビジネスマンの方々が参加し、震災発生時に福島県いわき市にいた遠藤さんの体験談と、防災の備えの考え方についての講義をもとに、日ごろの備えの重要性を考えました。

●●茨木市・イオン・立命館大学 協定締結記念企画・防災イベントにて 展示・ワークショップを開催

4/18（金）大阪府茨木市、立命館大学、イオンリテール(株)との災害時応援協定を締結したことを受け、イオン茨木内で防災イベントが開催されました。この催しのなかで災害復興支援に関する取り組みの展示を行なった他、災害復興支援室主催で防災グッズ買い物コンテスト、とんちで防災(防災大喜利)を開催。買い物中の近隣の市民の方々と防災について楽しく学びました。

<立命館 パネル展示・内容>

○立命館の災害復興支援の取り組み
○京都市北区衣笠学区における防災まちづくりの取り組み
○学生団体そよ風届け隊
○応用研 団教授「木陰の物語」
○3.11追悼企画「思い出写真」
▼（上）買い物コンテスト
（下）展示コーナーの様子



今後の主な取り組み予定

○6/1（日）BKC20thサクスデー・ふくしまとはじめよう。

楽しいステージ企画や名物グルメ、学生の活動報告を実施予定。

○後方支援スタッフ派遣24便（気仙沼）

派遣期間：6/19（木）出発-6/24（火）朝帰着

募集開始：5月下旬 CAMPUS WEB、および災害復興支援室HP等で開始。先着順で選考の上、参加学生を決定します。詳細はHPで公開する実施概要を確認してください。

編集後記

先般、立命館災害復興支援室のfacebookページが、おかげさまで1000「いいね！」に達しました。これを記念し2014年3月11日「いのちのつどい」で公開した写真を用いた700枚の写真で、モザイクアートを制作、facebookで公開中です。災害復興支援室では今後も、ささやかでも長く続く活動にあたって参ります。ひきつづき応援をよろしくお願いします。

